

令和7年

12月



さわやか川辺 ～安全で安心な地域をめざして～



川辺交番
24-8223
担当
長谷川大輔



～冬山遭難防止～



県内の山岳は、厳しい雪山の様相となり、本格的な冬山シーズンを迎えます。

例年、スキー場のコース外滑走やバックカントリーにおける遭難、悪天候による行動不能や道に迷い遭難に至るケースが多発しています。

私たちが住む長野県の冬山の特徴として、周期的な厳しい寒気の入り込みにより、吹雪が発生し、それが数日間続くこともあります。

遭難時の救助活動についても、積雪や天候等に左右されることが多く、実際の状況によっては、迅速に救助することが困難となり、数日間に及ぶビバークを余儀なくされることもあります。

冬山の厳しさを認識した上で、次の点に注意して安全登山を心掛けましょう。

計画



○余裕ある登山計画を立てる

日程や登山コース、危険箇所などを参加者全員で十分に検討し、それぞれの体力や技術に合った余裕ある登山計画を立てましょう。

○行動予定は家族等と共有

電子申請などインターネット等を活用し、必ず事前に登山計画書を作成・提出し、家族や友人、職場等にも共有しておきましょう。



○最新の気象情報を確認

入山前に必ず最新の気象情報を確認しましょう。

前線や低気圧が通過し、冬型の気圧配置が強まる場合には、天候が荒れるため、入山を中止しましょう。



○十分な日程と装備で

冬山は悪天候が続きます。

停滞を見越した余裕のある日程で、燃料や食糧を十分準備しましょう。

また、ビーコン等の装備品取扱いに習熟するほか、携帯電話などの通信手段の確保や予備バッテリーの携行も重要です。

○単独登山は要注意

単独登山は、遭難時に救助要請ができない場合があります。

